

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

玉入れで決着つけよう!! (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 佐藤 泰子

今週のドル円予想レンジ **106.50 ~ 108.00**

りそなWEEKLY COLUMN

石田ストラテジストの読者への挑戦Ⅳ

～ 認知的不協和と確証バイアス ～ (P3)

関西みらいフィナンシャルグループ
ストラテジスト 石田 武

- 読者への挑戦Ⅳ
- 認知的不協和（すっぱい葡萄）
- 認知バイアスと確証バイアス
- 解決編

2020/6/29

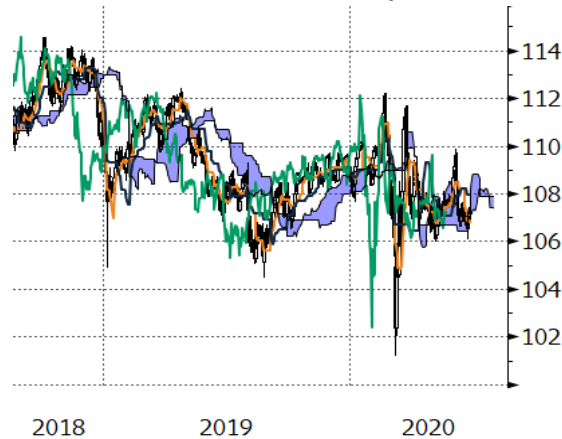
りそな外為レポート

玉入れで決着つけよう!!

今週のドル円予想レンジ **106.50 ~ 108.00**

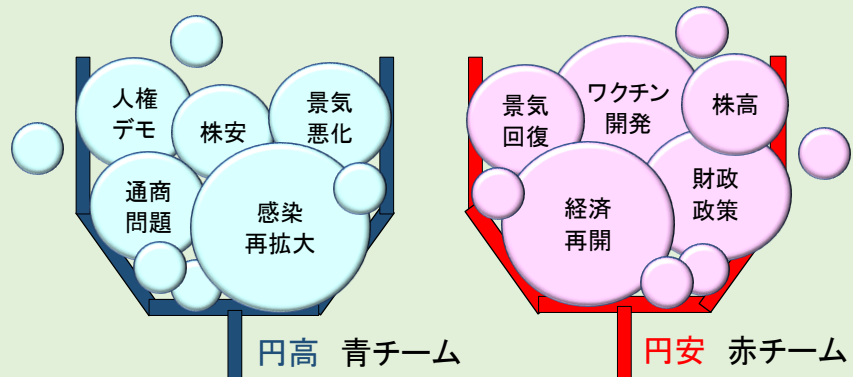
(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表 (日足)



◆為替相場のすすめ

ドル円は107円を挟んで一進一退、両者譲らずの展開。もうこうなったら!!玉入れをするしかない!!そうだ!!玉入れで決着つけよう!!



円安 赤チームが優勢です。(カスタマーディーラー 佐藤 泰子)

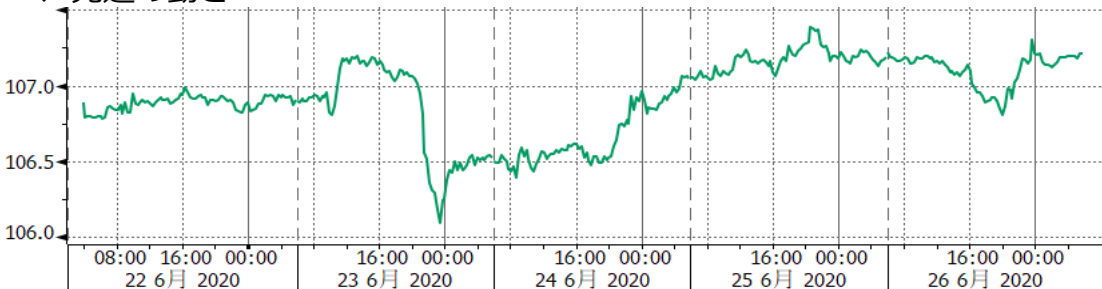
◆今週の日程

30日(火) 日	5月労働力調査	1日(水) 米	6月ISM製造業
30日(火) 日	5月鉱工業生産	1日(水) 米	FOMC議事録(6/9、10)
30日(火) 中	6月PMI	2日(木) 米	6月雇用統計
30日(火) 米	6月消費者信頼感指数	2日(木) 米	5月製造業受注
1日(水) 日	6月調査日銀短観	3日(金) 米	休場(独立記念日振替)

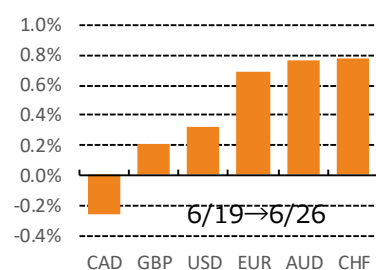
◆今週の予想 (ドル高 強い↑ 普通↑ ドル安 強い↓ 普通↓) NY引け値 6月26日(金) 107.22円 VS 7月3日(金)

東京							大阪				埼玉					
尾股	中根	湊	井口	鳥井	田中	浦本	中里	伊藤	佐藤	鈴木	武富	野瀬	小林	津田	石井	伊藤
↓	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↓

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



出所：Bloomberg

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2020/6/29

りそな WEEKLY COLUMN

石田ストラテジストの読者への挑戦Ⅳ

～ 認知的不協和と確認バイアス ～

石田ストラテジストの読者への挑戦シリーズは月末週に掲載します（次回は7/27予定）過去分は、
当社HPでご覧いただけます。 <https://www.resonabank.co.jp/kojin/market/gaitame/>

- 読者への挑戦Ⅳ
- 認知的不協和（すっぱい葡萄）
- 認知バイアスと確認バイアス
- 解決編

関西みらいフィナンシャルグループ
ストラテジスト 石田 武

読者への挑戦Ⅳ



【読者への挑戦Ⅳ】

テーブルに4枚のカードが置かれています。カードには片面には数字が、もう片面には色が塗られており、今は「3」「8」「赤」「茶色」の面が見えているとします。

「カードの片面が偶数ならば、その裏面は赤い」という仮説を確かめるために、ひっくり返す必要があるカードはどれでしょう？（必要かつ十分なだけ選んでください）



（画像はwikipediaからの転載）

すっぱい葡萄

お腹を空かせた狐はたわわに実ったおいしそうな葡萄を見つけました。取って食べようと懸命に跳び上がりますが、葡萄は木の高いところにあつて届きません。何度跳んでも届きそうになく、とうとう狐は「よく見たらすっぱい葡萄だ。どうせおいしくないだろう」と捨て台詞を残して去ってしまいました・・・

イソップ物語の1つ「すっぱい葡萄」というお話です。この狐のように、本当は手に入れたかったのに、自分には到底叶わないと諦めた後、一転してその対象を価値のない低級なものと思い込もうとし、**己の能力不足と向き合うことを避けて心の平安を得ようとする自己防衛的思考**が働くことを、認知的不協和理論と呼ぶそうです（ちなみに英語で「sour grapes」は「負け惜しみ」という意味だそうです）。

この認知的不協和、誰にでも心当たりがあるのではないのでしょうか。欲しかったものが手に入らなかった時等、自分を納得させるために必須のスキルとも言えます。そして、この認知的不協和を含む、**人間の心理に作用する様々なバイアス（偏り）を認知バイアスと言います**。今回はその中でも投資をするうえで影響の大きいものを、いくつかご紹介いたします。

2020/6/29

りそな WEEKLY COLUMN

認知バイアス

○確認バイアス

個人の先入観に基づいて物事を観察し、自分に都合のいい情報だけを集めて、それにより自己の先入観を補強する傾向。一旦ある決断を行ってしまうと、その後に得られた情報を、決断した内容に有利に解釈したり、自身の先入観を補強する材料を過大評価する一方、否定する材料を過小評価しやすい。

おそらく投資をするうえで最も陥りやすいバイアスがこの確認バイアスだと思います。一旦株価が上昇しそうだという判断をしてしまうと、それを補強する材料（中央銀行の金融緩和や政府の財政出動等）にばかり目が行ってしまい、経済活動の収縮等の材料を過小評価してしまうという経験に心当たりはないでしょうか。きっかけはなんとなくだったとしても、**バイアスのかかった情報収集により思い込みが補強されてしまう**といった失敗は、我々のようにプロとして相場に向き合っている人間でも往々にして陥りがちな、非常に厄介なバイアスです。全ての材料を公平に判断することは難しいですが、人間心理にはこういうバイアスがかかりやすいということを知っておくだけでも対策になりますし、あえて反対の意見を考えてみるというのも有効な対策でしょう。

○正常性バイアス

自然災害や火事・事故・事件等といった何らかの被害が予想される状況下であって、**自分に都合の悪い情報を無視したり、「自分は（今回は）大丈夫」等と事態を過小評価してしまう傾向。**

今回のコロナ騒動により改めて危険性が認識されたバイアスですね。実際には「**大丈夫なことの方が多い**」だけに、厄介なバイアスです。どんな状況にあってもいざという時の備えは非常に重要です。ヘッジのご相談は是非、りそなグループまでお寄せください。

○生存者バイアス

なんらかのハードルを通過できた人や物事のみが基準として判断され、通過できなかった人や物事の見過ごしがちな傾向。

投資先を考えるうえで意外と重要なのが、この生存者バイアス。現在の株価指数に採用されている銘柄や、商品ラインナップに並んでいる金融商品は、全て生存者です。「平均リターン〇〇%」等の数字の裏には、途中で脱落したものが多数除外されている可能性があり、注意が必要です。

○アンカリング

先行するなんらかの数字（アンカー）によって後から出てくる数字の評価が歪められ、判断がアンカーに近づいてしまう傾向。



りそな WEEKLY COLUMN

8×7×6×5×4×3×2×1の回答と、1×2×3×4×5×6×7×8の回答を直観で答えてもらうと、前者は中央値2,250、後者は中央値512と、大きな差が出たようです（正解はどちらも40,320）。他人の意見や過去の値動きに過度に流されないようにしたいですね。

○保守性

新しい事実に直面した際、それまで持っていた考えに固執してしまい、考えを徐々にしか変化させられない傾向。

これは非常に耳の痛い話。我々のように相場見通しをお話する立場の場合、恥も外聞もなく見通しをコペルニクス的に転換することはなかなか難しく、新たな材料が出てきても少しずつしか予想レンジを変えられないものです。

○後知恵バイアス

過去の事象を全て予測可能であったかのように見てしまう傾向。

「やっぱりそうだった」という台詞に代表されるバイアス。例えば「リーマンショックの時でも下落しない」というセールス文句等には要注意です。リーマンショックの時の価格変動を知っている我々にとっては、「リーマンショックで負けない」商品を作ることはさほど難しいことではなく、そういった商品が次のショックでも負けないという保証はありません。

いかがでしたでしょうか。認知バイアスは他にも数多くの種類がありますので、興味のある方は調べてみてください。さて、冒頭の問題は解けましたでしょうか。これはウェイソン選択課題と呼ばれる問題で、多くの方がこの問題に誤答してしまうのは、人間が反証を苦手とするため、つまり**確証バイアスによるもの**だと言われています。

【解決編】

ひっくり返すべきカードは「8」と「茶色」です。「8」と「赤」ではありません。仮説が否定されるのは「**片面が偶数であり、もう片面が赤色でないカード**」が存在する場合のみ。赤色のカードの裏面が偶数であろうと奇数であろうと、仮説に関係ありません。ちなみにこの問題、ルールを馴染みの深いものに変えると、正答率が上がるそうです。人間の心理は奥深いですね。

例：「お酒を飲んでいる人は20歳以上」 →
答：「16」と「ビール」 以上



解決編



※「認知的不協和」および「認知バイアス」については、例によってwikipediaの記述を参考にしております。